

## 連携先ミュージアム：京都市動物園

### 感動を伝えるサイエンスコミュニケーション：動物園をフィールドに

多世代が集う動物園を「公共経営」の場ととらえ、研究成果と実践から社会問題について共に考え主体的に行動すること、その機会を創出することを目的とした。調査研究とコミュニケーションを通じて自らの潜在力に気づき、表現力を豊かなものとし、リーダーシップを発揮することを目指した。

#### ■受講生

中井 志野（同志社大神学部）、鳴瀬 弘人（同志社大神学部）、大谷 智香（同志社大商学部）、飯塚 健斗（同志社大商学部）、  
 福田 怜央（同志社大商学部）、加藤 ふう夏（同志社大政策学部）、中村 真菜（同志社大政策学部）、安部 紘加（同志社大政策学部）、  
 安倍 瑞喜（同志社大政策学部）、小松 慎平（同志社大政策学部）、小村 ののか（同志社大政策学部）、村田 彩心（同志社大政策学部）、  
 武藤 佑奈（同志社大政策学部）、杉本 瑠美（同志社大政策学部）、海野 有香（同志社大政策学部）、山田 菜穂子（同志社大政策学部）、  
 横地 優尚（同志社大政策学部）、吉田 舜汰（同志社大政策学部）、小栗 瑞紀（大谷大文学部）、澤村 麗（京都外国語大外国語学部）、  
 小山 真実（京都女子大現代社会学部）、杉森 梨々子（京都府立大文学部）、三澤 宥志（種智院大文学部）、  
 中野 寧々（立命館大政策科学部）、田中 美有（同志社大グローバル地域文化学部）、長田 桃佳（同志社大グローバル地域文化学部）

#### ■担当教員

服部篤子（同志社大学・政策学部・教授）、TA依田真由美（同志社大学総合政策科学研究科M2）

### 活動目的・概要

京都市動物園を活動場所として、大学生の目線で得た発見と感動をもとに京都市動物園の魅力を同世代にPRする活動を行いました。まず、京都市動物園を含む動物園の役割を知ることから始めました。京都市動物園の論文や記事及び、生き物・学び・研究センターセンター長の田中正之先生のお話から動物園への理解を深めました。その結果「いのち」、「野生」、「SDGs」をテーマとした三つのグループを作り企画立案をすることになりました。「いのち」は動物福祉への理解向上、「野生」は動物の生態等への興味・関心の促進、「SDGs」は京都市動物園のSDGsの取組みの伝播を目的としました。

また、動物カメラマンの渡壁大さんによるワークショップを通じて動物園の動物と野生動物の違いを考える機会を得ました。企画に対して、①主旨・目的を明確に、②ステージとターゲットの理解、③実現のプロセスを検討するよう助言がありました。誰に何をどのように伝えたいのか企画を練りなすことになり、ターゲットのニーズとグループの目的を一致させることに悩みました。実践にあたって多くの改善点がありますが、参加して下さった来園者から笑顔が見られたことが印象的でした。



#### ◆主な活動(授業や自主活動も含め、自由に記載してください。必要に応じてフォントサイズ等も調整してください。)

2021.5.7 ガイダンス・自己紹介  
 2021.5.14 田中正之先生の講義  
 2021.5.21 自分が気になる論文の調査  
 2021.5.28 調べた論文の発表、グループ分け。  
 2021.6.4 Miroを用いた仮想動物園の作り方  
 2021.6.11 Miroでの仮想動物園作成  
 2021.6.18 動物園フィールドワーク  
 2021.6.25 各グループ企画中間発表  
 2021.7.2 企画準備等のグループ・ワーク

2021.7.4(日)動物カメラマン渡壁さんワークショップ  
 ・グループ企画発表・渡壁さんからのフィードバック  
 2021.7.9 企画のまとめ、準備  
 2021.7.16 動物園でのイベント開催  
 2021.11.18 報告会に向けてのミーティング  
 2021.11.19以降発表準備  
 2021.11.26 ウェブサイト作成のミーティング  
 2021.11.27以降HP作成  
 2021.12.12 成果発表

## 活動の成果

### 京都市動物園でのイベント企画と実施

#### いのちチーム

「動物福祉への理解向上」と「より幅広い層の来場客の取り込み」という2つのミッションを掲げ、掲示物とルートマップの作成に取り組みました。掲示物の作成にあたって、より多くの来場客に動物たちの生態や特技などについて知ってもらいたいという思いを持って検討しました。クイズを取り入れたり、動物たちの性格などを紹介したり、来場客が動物との共通点を見つけて楽しめるような工夫を行いました。一方、ルートを検討するにあたっては、「動物園の推し」、「かっこいい」、「かわいい」などといったテーマを設けて、同じ動物園でもそれぞれの好みや気分などに合わせて園内を楽しめるようなたくさんのコースづくりを行いました。親しみをもってもらうよう手書きのマップを作成しました。

#### 野生チーム

野生動物の魅力を通して動物の生態などに興味を持ってもらうべく課題に取り組みました。具体的には、「アニマルスナップ」という企画を立案しました。来場者に、動物園を一周しながらスマホで撮った写真を共有してもらい、それを人間とAIの2つの基準で採点するものです。それによって①動物の生態、しぐさや感情についてもっと興味をもってもらう、②動物園の新たな楽しみ方をつくる、③「一周したら終わり」という人にリピート周遊・来園させるきっかけをつくるのが目的でした。イベント開催時はチームを超えて来場客に話しかけ、動物の魅力伝える企画として実施することができました。

#### SDGs チーム

SDGsという17の持続可能な開発目標に興味を持ち、京都市動物園ではどのようなSDGsの取り組みを行っているのか資料等文献に加え、田中先生に現場を見せていただき調査しました。調べた内容をどのような形で伝えようか、グループのメンバー皆で話し合いました。YouTubeを使って映像を見てもらう事で、様々な人に京都市動物園のSDGsの取組を知ってもらう事が出来るのではないかと考えました。その中では、京都市動物園が実際に使っているゾウの糞を肥料に変える機械等を紹介することができ、貴重な物をYouTubeを通じて発信することが出来たと思います。また、我々グループのメンバーが、このYouTube活動を通じて京都市動物園の多様なSDGsの取組の詳細を知ることが出来、とても有意義な活動となりました。



## 活動を振り返って

**いのちチーム**：本講義での活動を通して、共通のゴールに向けて、協力して一つのものを作り上げていくことの難しさを学びました。異なる価値観を持ったメンバーが集まっているからこそ、コミュニケーションを積極的に取ったうえで、各々の強みを活かし、お互いをカバーし合っているような関係をつくるのが重要であると感じました。また、企画を進めていくなかで自分たちの伝えたい想いを形にして表現していくことの難しさにも直面し、目的やターゲットを明確にしたり、評価をもとに改善を行ったりしていくことの重要性を学びました。



**野生チーム**：動物園では様々な取組みや工夫がなされており、この活動を通じてより深く知ることができました。また、学んだことをどのように伝えていくか、みんなで試行錯誤しながらできたことが良かったです。企画を考える際にターゲットや目的などをしっかり定めることが必要だということ学びました。改善点もたくさんありますが、入念な準備の必要性を学ぶことができました。これまでは、コロナ禍ということもあり課題を一人でこなすことが多かったのですが、チームとしての活動をするうえで、何かを成功させるにはチームワークやコミュニケーション力が重要であると分かりました。

**SDGs チーム**：苦労した点は、YouTubeを作成するにあたって、京都市動物園に実際にいる私達は動物の迫力であったり、糞の大きさ、臭いを肌身で感じる事が出来ていますが、それを見ている人にどのように表現して伝えたら良いのかということでした。YouTubeを作成するのは全員の方で上手くなりました。しかし、上映会に来てもらえる人が少なかったことが残念でした。事前準備をしっかりやっておけば良かったと感じました。もう少し事前準備を綿密に行い、一人でも多くの人に見てもらえるようにすることを学びました。動物園は、動物を見てもらうのはもちろんの事、それ以外にもSDGsのような環境保全活動を実際に行っていることが理解できました。



## 担当教員からのコメント

本科目は、動物園の寛大なご配慮を頂戴して、アイデアを試行することから学びを得るものでした。課題発見とその解決策としてのアイデアは見つかるものの、それを満足のいくカタチとして実現させることが容易ではないことを体感した様子でした。また、コロナ環境の影響を受け、スケジュールを見直す必要がありました。学生たちのチームビルディングは時間がかかったようで、グループワークを通して様々な思いがあったことが報告書から伺えます。

共に考え主体的に行動すること、リーダーシップを発揮することを企図していたとおり、受講生たちにとって自らの潜在力に気付く機会になったと思います。このつながりを生かしてミュージアムを改めて違う角度からみることを期待したいと思います。

本当に京都市動物園のご協力に心より感謝申し上げます。

服部篤子

## 活動資料

野生チーム アニマルスナップイベントを実施しました。

・イベントのチラシ

**83.69点 探点**  
動物園に遊びに来た時、動物の写真を撮るのって、結構難しいよね！  
そこで、動物園で、スマホで動物の写真を撮るのって、結構難しいよね！  
そこで、動物園で、スマホで動物の写真を撮るのって、結構難しいよね！

**69 points**  
動物園に遊びに来た時、動物の写真を撮るのって、結構難しいよね！  
そこで、動物園で、スマホで動物の写真を撮るのって、結構難しいよね！

主催：大学コンソーシアム京都  
協賛：京都府動物園  
協力：京都府動物園

**アニマルスナップ 参加のしかた・遊び方**

- 動物園正面エントランスの右側にあるレクチャールームにて参加申し込み（イベント当日は1日（金）の10時50分以降受付開始）
- 受付で申し込み後、ルートマップを受け取り、フォトテーマを聞いて出発！
- ルートマップに沿って園内を走り、テーマに沿った動物の写真や動画を撮影する（最大枚数で撮影されます）
- 撮影が終わったら、レクチャールームに戻り、採点とスナップ写真を発表する
- 写真はスマホでAIとヒトが競ってスコアが算出されます。
- 最高スコアとニックネームがランキングのりです！
- 撮った写真は点数と共にSNS等にシェア！ご友人・ご家族などでスコアを競っても◎



いのちチーム：掲示物とマップを作成し配布しました。

1. 掲示物：動物の福祉や動物本来の生き方を楽しく解説しました。

**ハイライックス**  
暑がり、寒がり、いつも突進、アヒルに似てるかも?!、逃げ足が速い、集団行動が得意、怖がり

出身：アフリカ中部・南部  
高：京都府

人を見た目で判断しちゃダメ  
それ、ゴリラもね!  
ゴリラって優しい性格だよ  
手で胸を叩くのはよほど危険なときだけ!

実は僕意外と神経質なんだ...  
ゴリラってスリスリにすごく弱い...  
下痢などの体調不良や、茂密な負荷がかかると死んじゃうことも...

2. マップ：様々なテーマに沿ったルートづくりをしました。

京都府動物園 **カッコいいコース**

- ジャガー
- トラ
- キリン
- ハヤブサ
- ゴリラ
- フクロウ
- カバ

- ハイライックス
- ペンギン
- サイサイ
- フクロウ
- キリン
- カバ
- ゴリラ
- ハヤブサ



**Q** もし、自分より強い人に会ったら、ケープハイライックスはどうするでしょう!

**A** 素早く逃げる  
岩にすぐ隠れる  
牙はあるけど、戦えない!  
得意な技をみたい!と言われている...

SDGs チーム：京都市動物園のSDGsの取り組みを知ってもらうために、YouTubeの動画を作成しました。

YouTube動画のURL <https://youtu.be/GToL7qDkFB4>



活動の記録としてウェブサイトを作成しました。活動を振り返り、自分達が学んだことや課題をグループで話し合いました。

<https://sites.google.com/view/pbl-zoo/>

ミュージアム PBL科目2021

ホーム  
イベント  
SDGs  
野生

大学コンソーシアム京都  
PBL動物園2021活動報告  
2021年大学コンソーシアム動物園協賛の活動報告です。